

2026年3月24日

電通、サッカー日本代表戦の放送・配信権を取得

ーJFA との四半世紀の協力関係を発展させ、サッカーの熱狂と感動を日本全体へー

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑）は、公益財団法人日本サッカー協会（以下、JFA）と「サッカー日本代表放送権（2027～2030）」契約について基本合意に至りました。当社は四半世紀にわたり JFA と放送権（放送・配信を含む総合的なメディアライツ）の契約を締結しており、今回の契約更新によって、2027年1月1日から2030年12月31日までの4年間、JFA が権利を有するサッカー日本代表戦の国内外における全試合の放送権を取得します。当社は JFA とパートナーシップ契約（協賛を含むマーケティング契約）※1 も締結しており、放送権とマーケティング権の両輪で、日本サッカーの発展と JFA の事業を継続的に支援していきます。

日本国内において、サッカー日本代表は世代・性別を問わず幅広いファンに支持され、その熱量は年々高まっています。その一方で、視聴環境の多様化とともに放送や配信の取り扱いが複雑化しています。競技全体の魅力を最大化し次世代へ継承していくために、安定した競技運営基盤の確立と戦略的なメディア運用が求められています。

当社は2001年から25年間にわたり JFA と放送権契約を締結しており、特に2008年以降は民放各社と連携した放送体制を確立して、日本代表戦の熱狂と感動を多くの視聴者に安定的に届ける環境を実現してきました。現在はパートナーシップ契約も締結し、サッカー日本代表や JFA の多岐にわたる活動と、サッカー日本代表のコンテンツを活用した企業のマーケティング活動なども支援しています。

今回の契約更新を通じて、当社は日本サッカー界や JFA の「真のグロースパートナー」としてサッカー日本代表戦の価値のさらなる向上に貢献します。契約期間中の4年間、SAMURAI BLUE（日本代表）や U-23 日本代表の国内開催試合は地上波放送を実現し、なでしこジャパン（日本女子代表）などの熱戦も最適な放送・配信形態で全国の多くのファンに届けていきます。さらに JFA が取り組むフットサルやビーチサッカーといった競技の一層の振興も支援し、FIFA などのサッカーの国際機関とのリレーション※2 を生かして放送各局や OTT 各社との新たな事業創出にも取り組んでいきます。

当社は引き続き、JFA との強固な協力関係の下に、多くのファンが多様な形でより深くサッカーを楽しめる視聴体験を提供し、サッカーの熱狂と感動を日本全体で共有できる体制を実現していきます。

公益財団法人日本サッカー協会 会長 宮本恒靖 コメント

サッカー日本代表は、日本サッカーを象徴する存在として、多くの皆さまに支えられながら、日本中に勇気や感動を届けてきました。代表戦で生まれる熱狂や一体感は、サッカーの魅力や価値を社会へ広げ、日本サッカー全体を前へ進める大きな力になっています。

近年は放送や配信など視聴環境が大きく変化し、スポーツコンテンツの届け方は多様化しています。そうした中でも、できるだけ多くの方々が代表戦に触れられる、サッカーの素晴らしさを共有していただける環境を築いていくことが重要です。

四半世紀にわたり日本サッカーとともに歩んできた電通とのパートナーシップのもと、本契約を通じて、日本代表の試合をより多くの方々へ届け、サッカーの熱狂と感動を日本全体で共有できる環境をさらに広げていきます。

以上

※1 2022年5月9日発表：電通とJFA、「JFAパートナーシップ（2023～2030）」契約について基本合意

<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2022/0509-010520.html>

※2 2025年12月4日発表：電通、FIFAワールドカップ2026の国内における放送権を取得

<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2025/1204-010980.html>

dentsu Japan（国内電通グループ）は独自に定めた「スポーツビジネスに関するガイドライン」において、公正な事業活動の推進と業務遂行を通じて、スポーツに関連する事業の健全な発展とより良い社会づくりに貢献することを規定しています。

https://www.dentsu.co.jp/sustainability/sports_business.html

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 広報室 広報部

河南、永野、早川、内田

Email : koho@dentsu.co.jp